

新材料創生に関する調査研究

目的

二種類以上の素材をナノレベルで複合化・相容化する技術により、単一素材では達成できない機能を持った新素材開発を目指す。

市場性・ニーズ

自動車産業やロボット産業（特にサービスロボット）等の分野で新素材開発が望まれている。

コア技術

総研：高分子有機材料の分析・評価技術、企業：射出成型機製造、射出成型技術等

- ・ナノレベルで複合化・相容化する技術の調査研究
- ・調査内容提供のためのセミナーの開催
- ・新機能材料の試作、評価技術の確立

新材料創生研究会

対象企業団体等

新潟県プラスチック工業振興会

アドバイス・セミナー講師

技術調査

大学・先行企業・川下企業・材料メーカー

成果

提案が想定される研究開発課題

- ・高せん断混合による材料特性変化に関する研究
- ・高せん断付与による新機能材料創生に関する研究

実用化見込分野・製品

- ・自動車、エレクトロニクス、ロボット等各種産業分野における金属、セラミックス、ガラス製部品の代替による製品化

【アプローチ・構想案】

【H27】 調査研究・探索研究
「要素技術調査・試作研究」

【H28】 技術開発
「共同・サポイン・NEDO・JST等」

【H29】 試作・製品化
「製品への応用」